

2024年度町田市教育委員会

第9回定例会会議録

1、開催日 2024年12月20日

2、開催場所 第二、三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 小 池 慎一郎
委 員 後 藤 良 秀
委 員 井 上 由 奈
委 員 関 根 美 咲

4、署名者 教育長
委 員

5、出席事務局職員	学校教育部長	石 坂 泰 弘
	生涯学習部長	白 川 直 美
	教育総務課長	高 田 正 人
	保健給食課長	林 啓
	指導課統括指導主事	末 原 久 志
	指導課担当課長	渡 辺 幹 博
	教育センター所長	横 山 隆 章
	教育センター統括指導主事	鈴 木 和 宏
	生涯学習総務課長	西久保 陽 子
	書 記	齊 藤 華 子
	書 記	板 垣 有美子
	書 記	田 中 優 太
	書 記	中 里 典 子
	速 記 士	帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第24号 町田市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正す

7、傍聴者数 0 名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は井上委員です。

なお、本日は森山委員から欠席の届け出がございましたが、委員の過半数が出席をしておりますので、予定どおり会議を開催いたします。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず、私からご報告をさせていただきます。

お手元の「主な活動状況」をご覧くださいと思います。

私からは、11月21日に開催された定例校長会で話した内容について報告いたします。この日の校長会では、人間の性質として、人は「ピンクのキリンはいない」と言われると、ピンクのキリンが頭に残る。「紫の象をイメージしてはいけません」と言われると、紫の象が頭に残るといったようなことがあるそうです。それに関連して、人を指導したり、注意したりするときの留意点ということで話をしました。

まず、子どもたちに対する指導の際には、「忘れ物をしたらいいけません」と言うと、忘れ物がふえてしまう。「廊下を走ってはいけません」と言うと、余計走ってしまう。「けがをしないように」と言うと、けががふえてしまう。「失敗をしてはいけません」と言うと、失敗するというように、否定的に言うと、なぜか否定的な方向へ進んでしまうことが多いので、失敗しない、間違えないために、具体的に「こういうふうにしようね」と言えるかどうか大切に話をしました。「各先生方にも正しい指導、子どもが納得する指導を心がけるようお伝えください」と伝えました。

なお、これは、大人が相手でも同じなので、教員を指導したり、助言したりする際には、「雑だよ」と言うのではなく、「ゆっくり丁寧にやってみたらいいんじゃない？」とか、「慌て過ぎだよ」ではなく、「焦らないようにやってみたら？」など、相手を否定しない

言葉を使うように心がけること。「こうしてほしい」と思うことを、否定語以外で伝えてみるよう、校長先生方をお願いをしました。

子どもの指導や教員の人材育成はいつも課題になりますが、言葉かけ1つでかなり変わることがあるため、言葉の使い方は重要だと思っています。そのため、そのような話をしました。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

次に、委員の皆様からのご報告をお願いいたします。

○後藤委員 11月に開催されました中学校連合音楽会と小学校連合音楽会の連合行事に参加をし、中学校では合唱を、小学校では合唱と合奏を聞きました。どの学校の児童・生徒も声高らかにハーモニーを奏でたり、リズムカルで切れ味いい演奏をしたりと、練習の成果をしっかりと発揮できていました。

毎年この連合音楽会等に参加するたびに思うことですが、学校での合唱コンクールや音楽会での発表にとどまらず、市民ホールで他校の児童・生徒の発表を聞いたりすることで、目標を持ってやり遂げていくといった充実感を得たり、他校と学び合ったり、マナーを身につけたりと、大変大きな教育効果を生み出していると思います。今後も町田市の教育には発表し合ったり、競い合ったりして学ぶ場である文化あるいは運動などの連合行事を大切に継続して行ってほしいと願っています。

12月14日には中学校科学教育センター閉講式に参加しました。センター員の代表の生徒が、学校では体験できないような科学実験、大学・企業における先端科学の内容など、9つの講座についてそれぞれ感想を発表する様子から、科学教育センターの取り組みによって、生徒たちが科学について興味・関心を深め、一層科学好きになっていることがうかがえました。科学教育センターが充実した取り組みを進めていると感じました。

私からは以上です。

○井上委員 先月もたくさんの行事に出席いたしましたが、その中から幾つかお話ししたいと思います。

まず、11月4日に行われた中学校連合演劇発表会についてです。題材は、人間関係の難しさ、友達の大切さ、受験、部活、悩み、願いなど、1度きりしかない人生にどう向き合うのかといった等身大の話が多かったように思います。去年初々しかった1年生が、今年は立派に後輩を指導して、率先して動き回り、サポートする姿に、演劇とは1人では成

り立たず、バトンを渡しながらかみんなどつくり上げていく芸術作品なのだと改めて感じました。ここでもそ光り輝く子どもたちもいますから、その子たちのためにも、こうした発表の場は本当にありがたいですし、これからも続けていきたいですと小島校長先生がおっしゃっていたのが印象的でした。

芸術といえば、11月7日には中学校連合音楽会、11月13日から15日には小学校連合音楽会がありました。学校によってカラーが違い、同じ曲を歌っても、人数が多ければ、力強く、たくましさを感じ、人数が少なければ、はかなさ、切なさを感じ、音楽っておもしろいな、奥深いなと感じました。演劇も合唱・合奏も次世代のスターになりそうな子どもたちがおり、これからさまざまな刺激を受け、自分の強みを磨いていってもらいたいなと思いました。

次に、11月21日の町田第六小の研究発表会についてです。「すすんで伝え合う児童の育成」を研究主題とした国語の授業を拝見してきました。私がすばらしいと感じたのは話を聞く態度です。グループディスカッションの場面で、話す相手のほうに体を傾け、全て話し終わるまで口を挟まず、きちんと聞く姿勢、相づちやアイコンタクトなどの反応している点など、とても落ちついた傾聴態度でした。

また、4年生では、違う考えの友達と意見を伝え合う過程で、ある子が、同じ班員に対して、「相手の悪いところを指摘するのが癖になっちゃってるんじゃないかなと思ったから、そういうのは直したほうがいいんじゃないかなと思った。今は考えを伝え合う時間だからさ」と発言していて、とても立派だなと思いました。SNSが発達した世の中で、短い文章で簡略化したやりとりをするのが当たり前になっている私たち大人も見直すべきポイントがあるのではないかと感じました。

最後に、11月30日に玉川大学で行われたペーパーティーチャー研修についてです。後ほど報告事項で詳しい説明があるかと思いますが、免許はあるものの実務経験がなかったり、現場から離れてしまっていて自信がない方にとって、参加費無料でこのような研修講座を受けることができるというのは大変メリットがあると思います。自分で調べても情報があふれ返っている社会において、最近の教育事情や現場の様子を、要点をかいつまんで事細かに説明していただける機会、また、事務手続について直接質問ができる場というのはそうそうないからです。

ほとんどの方が熱心にメモをとりながら、うなずきながら、3時間にわたり、真剣に参加してくださっていました。ボランティアや支援員などからでもいいので、これを機に教

育現場にぜひ携わっていただきたいと感じました。全国的な教員不足ではありますが、町田市としてできることは何か、教育委員会としてこれからも策を講じ続けたいなと思いました。

私からは以上です。

○関根委員 今月はたくさんの活動がございましたが、その中から3点に絞ってご報告させていただきます。

11月8日には南第一小学校150周年記念式典にお伺いいたしました。明治6年から開かれたこの歴史ある学校の節目となる年を迎え、子どもたちを中心に、学校、地域とともに祝いする式典でした。会場では、地域協力者、見守り、町内会、学習ボランティア、近隣の児童施設関係者、民生委員、PTA関係者など、たくさんの方々が参列し、6年生全員で行った力強く頼もしい呼びかけの言葉を温かく見守っていました。

今回発行された周年記念誌は、明治から令和までの学校の歴史を子どもたちにも理解できるようわかりやすく工夫し、まちの様子を学習するための地域資料としても使えるような仕様になっています。

また、この学校のシンボルとして2013年まで85年間にわたって見守ってきた大王松と呼ばれる松の木を使ったベンチを、今回の記念として2つ製作し、子どもたちのために活用しているとお聞きしました。これからも子どもたちの成長を見守りながら、地域の方々や教職員、保護者の方々が手を取り合って、さらに新たな伝統を紡ぎ、この学校が発展していくことを願っております。

11月13日には2024年度町田市公立小学校連合音楽会第1部にお伺いいたしました。子どもたちの演奏はどの学校もとてもすばらしく、それぞれの演奏や合唱が心に響きました。

1つ、とても印象的で心に残ったシーンがあります。第1部の最後の学校が舞台に上がり、演目の「ソーラン節」を立派に演奏しました。すると、客席に座っていた他校の子どもたちが、その曲に合わせて自席で踊り出したのです。恐らく多くの学校の5年生が運動会で披露した演目だったのでしょう。それぞれの学校で異なる振りつけでしたが、会場が1つになり、子どもたちが楽しそうに音楽に合わせて踊る姿は、まさしく音楽を心から楽しむ連合音楽会そのものだったような気がします。

そして、今年度も音楽部の先生方が、会場案内や撮影、受付、司会進行、タイムキーパーなどの運営をこなし、舞台裏では、各学校のそれぞれの楽器のレイアウト図が記された

模造紙を見ながら忙しく動いてくださっていました。それぞれの役割をしっかりと果たし、音楽会をスムーズに運営してくださった先生方にも深く感謝を申し上げます。

11月20日には鶴川エリア中学校給食センター内覧会に出席させていただきました。今回は調理器具などがまだ入っていない状態だったため、衛生面から普段入ることのできない調理場に入ることができ、とても貴重な機会をいただきました。

見学は2階からスタートし、それぞれの区域にある汚染作業区域用前室を経て、食物アレルギー対応食下処理室、調理室、盛付室、コンテナ室を見ました。アレルギー対応食の調理ルートは普通食と完全別個になっており、各種アレルギー対応に関して安心できる流れになっています。ちなみに2階には、ほかにも米作業室、洗米室、炊飯室があります。

1階に降りて、同じように、それぞれの部屋の前の汚染作業区域用前室を通り、野菜荷受室、食物アレルギー荷受室、肉・魚荷受室、肉・魚下処理室、皮剥き室、野菜下処理室、煮炊き調理室、和え物室、揚げ物・焼物・蒸し物室、配送用風除室、コンテナ室、器具洗浄室を見た後、最後に各学校から洗い物が戻ってくる場所を見学しました。

そこでは、精密にはかれるはかりが設置されており、そのはかりで給食の残量を毎日計測し、どの学校のどの学年のクラスがどれくらい残しているかを記録し、それがデータ化されていきます。行く行くはそれを参考にして、子どもたちの栄養を考えた献立メニューや配食量などを考慮していくというシステムだそうです。それぞれの部屋がとても衛生的で、無駄のないスペースの造りになっており、かつ、最新の器具が配置されており、効率よく調理ができるすばらしい環境でした。

そして、つい先日、該当する中学校において、業者による配膳のシミュレーション予行が行われ、拝見することができました。いよいよ3学期から始まるこの地区の給食配給に当たり、おいしい給食が安全に子どもたちに届けられるよう、関係各所の方々が万全の準備をしてくださっていることに感謝をいたします。

私からは以上です。

○教育長 ほか、よろしいでしょうか。

それでは、今の私並びに委員の皆様の報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

そのほかに事務局等含めて、報告ございますでしょうか。

○学校教育部長 私から 2024 年第 4 回町田市議会定例会の学校教育部所管分についてご報告させていただきます。

第4回定例会は11月28日に議案の提案理由説明がありまして、12月3日から9日までの5日間に一般質問、10日に質疑が行われました。11日に文教社会常任委員会が行われました。

まず初めに、一般質問では、学校教育部に対し、11人の議員から質問がありました。その内容として、表題だけになりますが、「小学校給食調理室の暑さ対策について」、「子どもの虐待・ヤングケアラーについて」、「部活動の地域連携・地域移行について」、「多文化共生社会の実現に向けて（その2）」、「ジェンダー主流化に向けた課題について問う（その2）」、「児童生徒が安心して通える学校環境のために！」、「いじめ重大事態発生時の対応と、第三者調査の進め方について、緊急時に迷わず正しい判断ができるよう万全の準備を！」、「新たな学校づくり推進計画の一部修正について」、「町田市の新たな学校づくりにおける『地域活用型学校』について」、「子どもたちを性暴力の被害者、加害者にさせないための取り組みを求めて」、「新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井～」、「町田市における学びの多様化に係る事業の進捗について」、「登校できない子どもたちへの支援について（その2）」、「小学校設置基準の『運動場の面積』について」、「今後の市立図書館と学校図書館の連携について」、以上が一般質問です。

続きまして、質疑においては、小・中学校給食費無償化事業について、3人の議員から質問がありました。

12月11日の常任委員会では、請願3件と補正予算について審議していただきました。「子ども達や保護者を振り回している統廃合計画を白紙撤回し 国の適正規模に基づいて、子ども達も安全に安心して近くの学校に通学し、子ども達に目の行き届いた各学校の建替え・設置を求める請願」、「6月請願採択に則り、町田市の第一期統廃合計画の延期と見直しを求める請願」、「『新たな学校づくり』＝『地域活用型学校』についての策定、契約、教育に関わる情報を市民にわかるように公表、説明することを求める請願」、それぞれに幅広くご質疑いただきました。

請願につきましては、『新たな学校づくり』＝『地域活用型学校』についての策定、契約、教育に関わる情報を市民にわかるように公表、説明することを求める請願」は委員会で採択となりました。そのほかの2件は、委員会では不採択となりました。

補正予算につきましては、小・中学校給食費無償化事業について、多くのご意見、ご質問をいただき、委員会では可決となりました。

行政報告は、「新たな学校づくり推進事業の進捗状況について」、「中学校給食センター

整備事業について」、「分教室型学びの多様化学校の開設について」を行いました。なお、来週、12月23日に行われる市議会本会議にて表決される予定となっております。

学校教育部の議会報告は以上です。

○生涯学習部長 では、2024年第4回町田市議会定例会の生涯学習部所管分についてご報告をいたします。

まず、12月3日から12月9日まで行われた一般質問では、4人の議員から質問がございました。表題につきましては、「国際版画美術館と町田市民文学館の企画展について」、「新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井～」のうち、保護者組織の進捗について、「公立図書館の役割とさるびあ図書館の存続について問う」、「今後の市立図書館と学校図書館の連携について」です。そのほか、学校開放事業に関する再質問がございました。

次に、12月13日に行われた文教社会常任委員会では、第101号議案「令和6年度（2024年度）町田市一般会計補正予算」のうち、生涯学習部所管分について審査をしていただきました。本件は、旧永井家住宅の耐震診断の実施時期を見直したことに伴う減額の補正予算でしたが、委員からの質疑はなく、賛成全員で可決すべきものとされました。なお、本議案につきましては、12月23日に開催されます本会議の表決において最終的に審査いただくこととなります。

生涯学習部所管分についての報告は以上でございます。

○教育長 それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第24号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明いたします。

○学校教育部長 議案第24号「町田市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則について」、ご説明いたします。

本件は、町田市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則によって、各校に7人以内としている学校運営協議会の委員の人数について、学校統合を行う学校の統合初年度については、委員の選定や委員間の引き継ぎなどを考慮して、上限を引き上げる改正を行うものです。

1枚おめくりいただきまして、1「改正理由」です。

「学校統合に伴い、学校運営協議会（以下「協議会」といいます。）の委員の人数に関する規定を改めるため、改正するもの」としています。

次に、2「改正内容」です。

第4条で、「学校統合が行われた場合における当該統合した学校の協議会の委員の人数は、当該統合が行われた年度に限り、教育委員会が別に定める数とする規定を加えます」。

次に、3「施行期日」です。

施行期日は、令和7年4月1日からとなります。

次に、4「補足説明」です。

学校統合が始まる2025年度以降、統合後の学校の協議会は統合前の各学校から委員を選出し、運営を行います。現行の規定では、協議会の委員の人数は7人以内としておりますが、統合した初年度におきましては、当該学校の協議会の委員の人数の上限を上げる必要があります、その人数は教育委員会が定めることといたします。

1枚おめくりをいただきまして、改正内容の新旧対照表になります。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして何かございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了します。

お諮りします。議案第24号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

日程第3、協議事項に入ります。

協議事項(1)「町田市文化財保護審議会への諮問について」を協議いたします。本件については担当者からご説明を申し上げます。

○生涯学習総務課長 協議事項(1)「町田市文化財保護審議会への諮問について」、ご説明いたします。

町田市登録有形民俗文化財の登録候補として、成瀬の天狗型道祖神(3基)でございます。

諮問理由でございますが、成瀬地区に天狗の姿をした道祖神が3基ございます。天狗の姿をしている道祖神という点と、またそれが3基も成瀬地区にあるという点で、全国的に見て珍しく、石造物としての文化財的価値が高いことから、町田市登録有形民俗文化財とすることにつきまして、町田市文化財保護審議会に諮問するものでございます。

参考資料 1 は、文化財保護審議会で審議するために提出する予定の資料でございます。

資料 3 ページ目に 3 基の道祖神の写真を掲載しております。

4 ページ目以降の参考資料 2 は町田市文化財指定・登録基準でございます。

説明は以上です。

○教育長 以上で説明は終わりました。

何かございますでしょうか。ーよろしいでしょうか。

それでは、本協議事項の内容につきまして、特にご異議がなければ、ご提案させていただいた案のとおり町田市文化財保護審議会へ諮問したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

以上で協議事項を終了いたします。

次に、日程第 4、報告事項に入ります。

まず、報告事項 (1) について担当者から報告をさせていただきます。

○保健給食課長 中学校給食センター整備事業につきまして報告いたします。資料をご覧ください。

町田市では、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けた取り組みを進めております。堺エリアでは 9 月 3 日にゆくのき学園の給食室から配送する形で全員給食を既に開始しております。また、鶴川エリアは建物が完成して、1 月の給食開始に向けて開業準備を行っております。鶴川エリア及び現在建設中の 2 つのエリアの中学校給食センターの進捗を報告いたします。

(1) 「鶴川エリア」でございます。

金井スポーツ広場の北側に建設していた鶴川エリア中学校給食センターは、建物が完成し、2024 年 11 月 18 日に建物の引き渡しを受け、運営事業者とともに開業準備を進めております。2024 年 11 月 20 日に関係者で内覧会を行いました。2024 年 12 月 26 日には開所式を予定しております。また、2025 年 1 月から鶴川エリアの中学校 5 校へ給食の提供を開始いたします。お手元の写真は後ほどお目通しください。

資料を 1 枚おめくりください。(2) 「町田忠生小山エリア」でございます。

旧忠生第六小学校の西側にて現在工事を進めております。外壁等はほぼ完成してきたため、現在は外構工事及び内装工事を行っております。2025 年 1 月に工事完了予定、2025

年4月、1学期になりますが、ここから給食の提供開始を予定しております。

資料をおめくりください。(3)「南エリア」でございます。

東光寺公園及び調整池にて現在工事を進めております。2025年9月、2学期になりますが、ここから給食提供開始に向けて、現在基礎及び1階の床工事（コンクリート工事）を進めております。

また、11月30日にはなるせ駅前市民センターにて市民交流エリアの活用方法を考えるワークショップを開催いたしました。23名の市民が集まり、活発に意見を交わしていただきました。市民の中には「多世代の交流の場にしたい」や「自分たちが主体となってボランティアや活動を行っていききたい」という声上がり、地域全体で盛り上げていきたいという思いや中学校給食センターへの期待が感じられました。

最後に、「事業スケジュール」でございます。繰り返しになりますが、鶴川エリアが2025年1月から全員給食開始、町田忠生小山エリアが2025年4月から全員給食開始、南エリアが2025年9月から全員給食開始の予定でございます。

説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(2)について担当者からご報告いたします。

○指導課担当課長 報告事項(2)『『ペーパーティーチャー研修』の実施について』、ご説明いたします。

本研修は、昨今の教員不足解消を目的として、主に教員免許状を保有しているものの、現在は教職についていない方を対象に、町田市教育委員会と独立行政法人教職員支援機構玉川大学センターとの共催により実施いたしました。2024年7月から11月までの間に、玉川大学において3回開催し、参加された方は合計で39名でした。

研修内容としましては、「最近の教育事情」、こちらには森山賢一教育委員に講師としてご登壇をいただきました。また、「これからの学習指導要領が目指す教育」、次のパートでは、教員の力量形成や教員への支援体制、最後に、教員として任用されるための事務手続について講義を行い、終了後は個別の相談時間を設けました。

参加者の皆さんには熱心に受講していただき、アンケートにおいても前向きなコメントを多くいただきました。

資料 2 ページの 6 をご覧ください。こちらがアンケートの結果です。一部を紹介いたしますと、上から 3 番目ですが、「現在求められている教育の内容や教職員が働きやすい環境が整えられつつあることが分かりました。復職を考える際に教職も選択肢の一つとして考えていきたいと思います」。また、そこから 2 つ下がりました 5 番目ですが、「現在正規雇用で会社員をしているため今すぐに任用登録は考えておりませんが、今後の自分の生活が変わることも考え、前向きに考えたいと思います」といったコメントをいただきました。研修会終了後の個別相談にも多くの方が参加し、関心の高さがうかがえました。

最後に、「参加者の年代等」をご覧ください。参加者の年代としては、40 代と 50 代が多く、また保有する教員免許状は中学校の英語が最も多い状況です。希望する職種については、時間講師が最も多く、次が臨時的任用教員でした。参加者の中には、特別支援教育支援員やスクールサポートスタッフなど、教員をサポートする職種に関心のある方も多くおられたため、そうした職種から学校に入っていただき、教員の任用につなげていくことも有効ではないかと考えております。

現時点では研修受講者から教員の任用に至った方はいらっしゃいませんが、数年先を見据えて今回受講された方もいらっしゃって、教員の任用につなげる効果は少なからずあったと認識しております。引き続き教員不足解消につなげるため、町田市教育委員会独自の取り組みを実施してまいります。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について担当者から報告いたします。

○教育センター所長 2025 年 4 月から分教室型学びの多様な学校を教育センター内に開設いたしますので、進捗について報告いたします。

1、分教室入室手続の進捗についてです。

2025 年 4 月に分教室に進学・入室できる児童・生徒は、現在の小学 6 年生と中学 1・2 年生になります。そこで、市立小・中学校に在籍する対象学年の保護者に対し、学校を通じて、6 月 21 日付で分教室開設と入室説明会の実施について周知いたしました。あわせて、教育センターホームページ上でも同様の周知をしております。

入室手続の流れの図と手続者数の表をご覧ください。

入室の手続について説明いたします。分教室への入室につきましては、まず入室を希望する児童・生徒及び保護者の方と1回目の入室相談を行います。その後、4週間の体験通室を実施し、体験通室の様子を受けて、2回目の入室相談を行います。その結果、入室を希望される場合は入室申請をしていただき、その後の入退室検討委員会で入室者を決定することになります。

表につきましては、説明会、体験通室等を、第1クール、第2クールの2回行いましたので、それぞれの参加人数を載せております。

2 「分教室の概要」についてです。

まず、生徒数でございます。2025年4月スタート時では12名が入室いたします。学年の内訳は1年生5名、2年生1名、3年生が6名となっております。定数は30名です。で、2025年度中に年度内の途中転入者を募集いたします。

次に、職員体制です。教科指導といたしましては、東京都教員3名、こちらは、もしかすると4名かもしれませんが、これは1月下旬に決定とのこと。その他、会計年度任用職員3名、市費講師4名の計10名で行う予定です。生徒支援といたしましては、会計年度任用職員3名が行います。内訳は養護教諭、指導員、スクールカウンセラーになります。

次に、時間割でございますが、登校時間に余裕を持たせ、午前3時間、午後2時間を基本時程といたします。特別の教育課程を組むことで、標準授業時数の約1割が少なくなっています。授業は学年相当の内容としますが、放課後に「パーソナル・ラーニング」の時間を設け、個別に学習支援を行います。

特色についてですが、基礎的なキャリア教育を推進します。生徒が自分自身の理解を深め、将来なりたい自分をイメージすることで、学習や登校への動機を高めます。また、養護教諭がきめ細かく体調不良に対応するほか、スクールカウンセラーを週4日程度配置し、生徒及び保護者の相談に対応いたします。

3 「今後の予定」は記載のとおりです。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。

○井上委員 私も11月に教育支援センター分室のやどかり教室を視察してまいりました。学校に行きたいけれど、大人数の中には入れない。学習したいけれど、1人で家でやるのは難しい。学校に行けなくなっていたけれど、新しい場所があるならもう一度頑張ってみ

たい。そういった子どもたちが町田市内にたくさんいるということを実感しました。この分教室型学びの多様化学校の開設によって選択肢が1つふえるというのは、子どもたちにとっても保護者にとっても非常にありがたいことです。開設準備は大変だと思いますが、引き続き頑張っていただきたいなと思います。

○教育長 ほかによろしいでしょうか。

予定された本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局から何かございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で町田市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。

午前10時35分閉会